

刑事控訴事件の審理期間等に関する統計資料

※ ()内のページ数及び図表の番号は、図表に対応する迅速化検証報告書(平成17年7月)中の地裁第一審訴訟事件に関する図表の掲載ページ及び図表番号を示したものである。

第1 平成17年単年度

1 刑事控訴審事件の概況

【図1】刑事控訴審の手続の流れ

【表2】申立人員及び控訴率

【表3】申立人別控訴申立数・控訴理由別内訳

【表4】申立人別結果

【表5】刑事控訴審事件の概況データ(※P164-表3)

2 控訴審の審理において審理期間に影響する要素

【図6】審理期間の分布(※P166-図5)

【図7】開廷回数の分布(※P167-図6)

【図8】開廷回数別平均審理期間(※P168-図7)

【図9】審理期間別平均開廷回数(※P169-図8)

【図10】控訴申立人別審理期間の分布

【図11】控訴申立人別平均開廷回数の分布

3 証拠調べ手続と審理期間等の関係

【図12】取調べ証人数の分布(※P172-図13)

【図13】審理期間別取調べ証人数の分布(※P173-図14)

【図14】開廷回数別取調べ証人数の分布(※P173-図15)

【図15】証人数別審理期間の分布(※P174-図16)

【図16】証人数別開廷回数の分布(※P175-図17)

4 控訴の理由と審理期間等の関係

【図17】控訴理由別の審理期間

【図18】控訴理由別の開廷回数の分布

【図19】控訴理由別の証人数の分布

【図20】控訴理由別の控訴審における事実の取調べの行われた人員とその内容

5 控訴審の結果刑期別の審理期間等

【図21】控訴審の結果別の審理期間の分布

【図22】控訴審の結果別の開廷回数の分布

【図23】控訴審の結果別の証人数の分布

6 破棄理由別の審理期間等

【図24】破棄理由別の審理期間の分布

【図25】破棄理由別の開廷回数の分布

【図26】破棄理由別の証人数の分布

第2 経年変化

【図 2 7】 平均審理期間，平均開廷回数及び平均開廷間隔の推移（※ P207-図 65）

【図 2 8】 平均取調べ証人数の推移（※ P208-図 66）

【図 2 9】 新受人員と平均審理期間の推移（※ P210-図 69）

【図 3 0】 審級別の平均審理期間の推移

第 3 高裁別

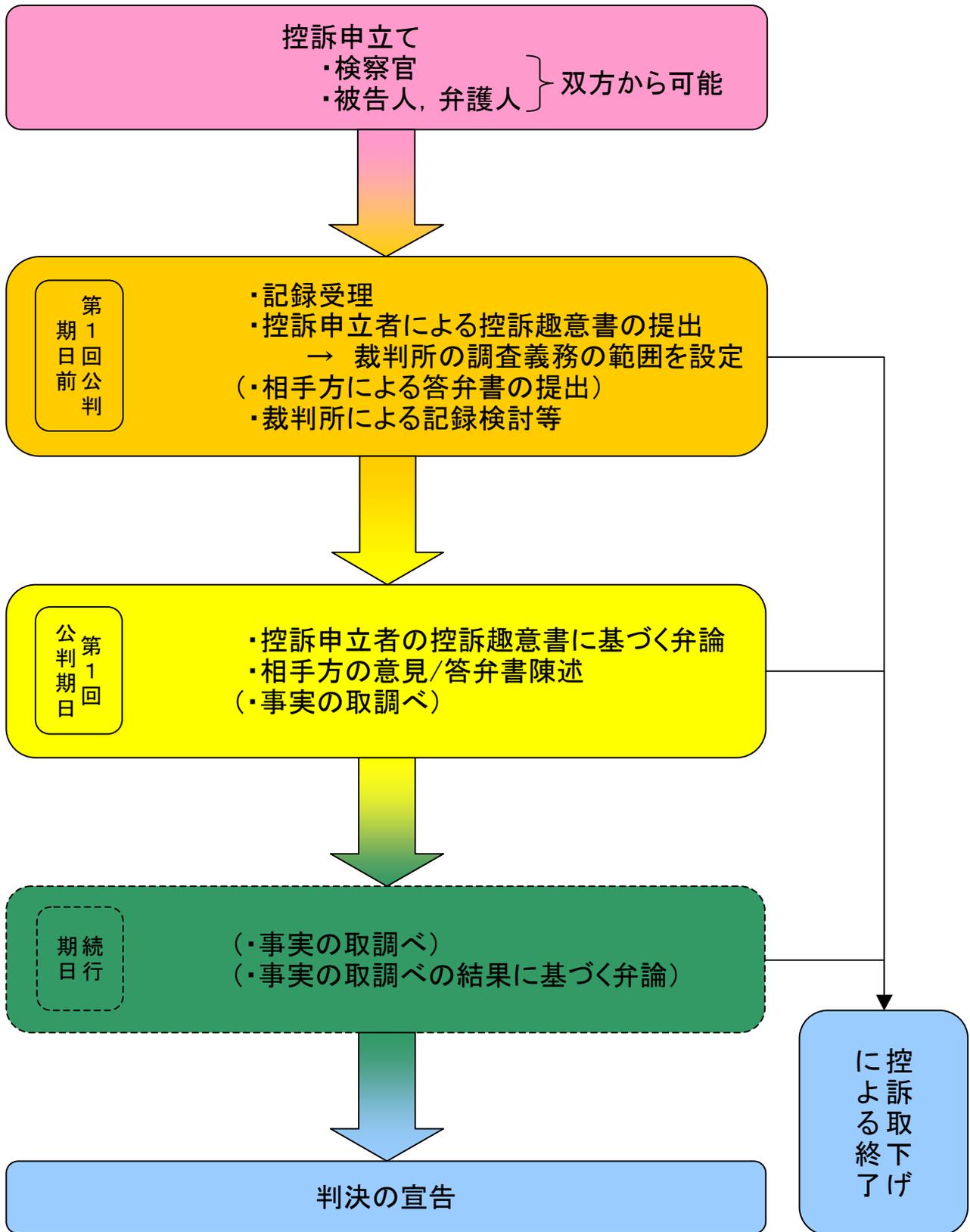
【図 3 1】 高裁別事件数の状況（※ P219-図 87）

【図 3 2】 高裁別審理期間の状況（※ P220-図 89）

【図 3 3】 高裁別開廷回数の状況（※ P221-図 91）

【図1】

刑事控訴審の手続の流れ



【表2】申立人員及び控訴率(地裁・簡裁)

区分 年次	総 数			地 裁			簡 裁		
	判決人員	控訴申立人員	控訴率 %	判決人員	控訴申立人員	控訴率 %	判決人員	控訴申立人員	控訴率 %
17	91,157	8,862	9.7	77,360	8,154	10.5	13,797	708	5.1

(注) 判決人員は有罪人員と無罪人員の合計である。

【表3】申立人別控訴申立数・控訴理由別内訳

区分 年次	終局人員	被 告 人 側							検 察 官 側						
		控訴申立人総数	刑訴法377条・378条	訴訟手続の法令違反(379条)法令適用の誤り(380条)	量刑不当(381条)	事実の誤認(382条)	判決後の情状(393条2項)	その他	控訴申立人総数	刑訴法377条378条	訴訟手続の法令違反(379条)法令適用の誤り(380条)	量刑不当(381条)	事実の誤認(382条)	判決後の情状(393条2項)	その他
17	9,264	9,080	(1.5)137	(8.6)783	(71.5)6,494	(25.4)2,305	(3.4)308	(0.2)21	266	-	(16.5)44	(62.8)167	(29.7)79	-	-

(注) 1 控訴理由が複数ある場合には、各欄に重複して計上した。
 2 「その他」は刑の廃止・変更、大赦等である。
 3 控訴趣意書提出前取下げ等で理由の判明しなかった場合は掲げていない。ただし、控訴申立人総数には計上した。
 4 ()内は各控訴申立人総数に対する%である。

【表4】申立人別結果

区分 年次	終局人員	控訴申立人総数	被 告 人 側							検 察 官 側							
			控訴棄却		破 棄		公訴棄却の判決決定	取下げ	移送・回付	控訴申立人総数	控訴棄却		破 棄		公訴棄却の判決決定	取下げ	移送・回付
			判 決	決 定	自 判	差戻し・移送					判 決	決 定	自 判	差戻し・移送			
17	9,264	9,080	(66.2)6,015	(0.1)9	(11.9)1,079	(0.1)12	(0.3)23	(21.4)1,941	(0.0)1	266	(19.5)52	-	(74.1)197	(1.9)5	(4.5)12	-	-

(注) ()内は各控訴申立人総数に対する%である。

【表5】刑事控訴審事件の概況データ

(※P164-表3)

終局人員	9,264
平均審理期間(月)(控訴審記録受理から控訴審終局)	3.3
2年超の事件の割合(%)	0.4
平均開廷回数(回)(公判が開かれずに終局した事件を含む)	1.7
平均開廷回数(回)(公判が開かれずに終局した事件を除外)	2.2
平均開廷間隔(月)(控訴審記録受理から控訴審終局)	1.5
平均取調べ証人数(人)	0.2
弁護人選任率(%)	92.9
国選弁護人選任率(%)	70.3
私選弁護人選任率(%)	24.0
鑑定実施率(%)	0.20
検証実施率(%)	0.03

注：平均開廷回数とは、公判を開いた被告人1人当たりのものをいう。以下、特に断らない場合は、控訴取下げなど公判が開かれずに終局した事件についても、平均開廷回数を算出する対象事件に含めている。

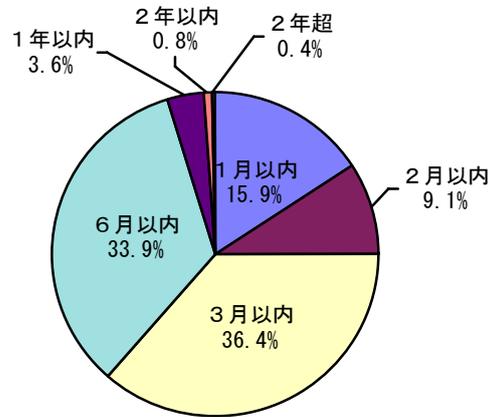
平均開廷間隔とは、受理から終局までの平均審理期間を平均開廷回数で除したものをいう。この場合の平均開廷回数については、公判が開かれずに終局した事件は算出の対象から除外している(以下、特に断らない限り同様である。)

国選弁護人と私選弁護人が同時に付いた事件や国選弁護人が解任された後に私選弁護人が付いた事件(あるいはその逆の場合も含む。)は、「国選弁護人選任率」及び「私選弁護人選任率」の双方に計上されているため、両者の合計は「弁護人選任率」を上回っている。

控訴審の審理期間及び平均審理期間

区分 年次	終局 人員	控訴審記録受理から終局まで							平均審 理期間 (月)
		1月以内	2月以内	3月以内	6月以内	1年以内	2年以内	2年超	
平成17年	(100.0) 9,264	(15.9) 1,474	(9.1) 845	(36.4) 3,370	(33.9) 3,139	(3.6) 329	(0.8) 70	(0.4) 37	3.3

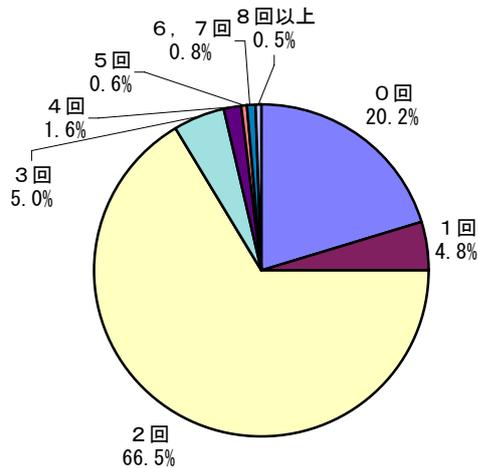
【図6】審理期間の分布(平成17年) (※P166-図5)



控訴審の開廷回数及び平均開廷回数

区分 年次	終局 人員	開廷回数								平均開 廷回数 (回)
		0回	1回	2回	3回	4回	5回	6, 7回	8回以上	
平成17年	(100.0) 9,264	(20.2) 1,868	(4.8) 441	(66.5) 6,164	(5.0) 465	(1.6) 147	(0.6) 55	(0.8) 76	(0.5) 48	1.7

【図7】開廷回数の分布(平成17年) (※P167-図6)

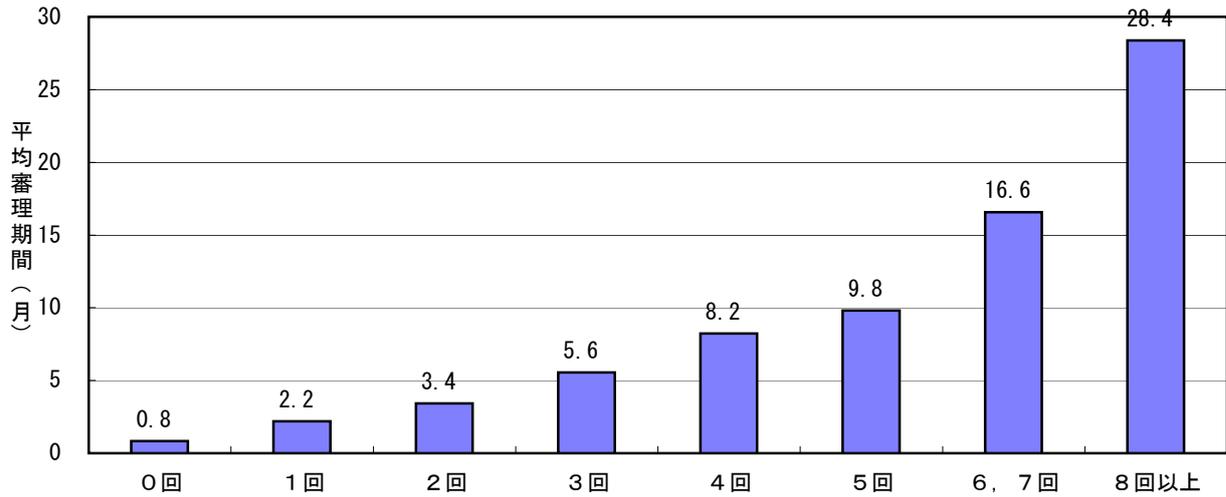


控訴審の開廷回数別平均審理期間(平成17年)

区分 開廷回数	終局 人員	控訴審記録受理から終局まで								平均審理期間 (月)
		1月 以内	2月 以内	3月 以内	6月 以内	1年 以内	2年 以内	3年 以内	3年を 超える	
0回	1,868	1,438	355	62	10	-	1	1	1	0.8
1回	441	36	181	199	24	-	-	-	1	2.2
2回	6,164	-	309	3,077	2,708	65	4	-	1	3.4
3回	465	-	-	31	331	97	5	1	-	5.6
4回	147	-	-	1	54	83	7	2	-	8.2
5回	55	-	-	-	10	39	6	-	-	9.8
6, 7回	76	-	-	-	2	35	32	7	-	16.6
8回以上	48	-	-	-	-	10	15	8	15	28.4

【図8】開廷回数別平均審理期間(平成17年)

(※P168-図7)

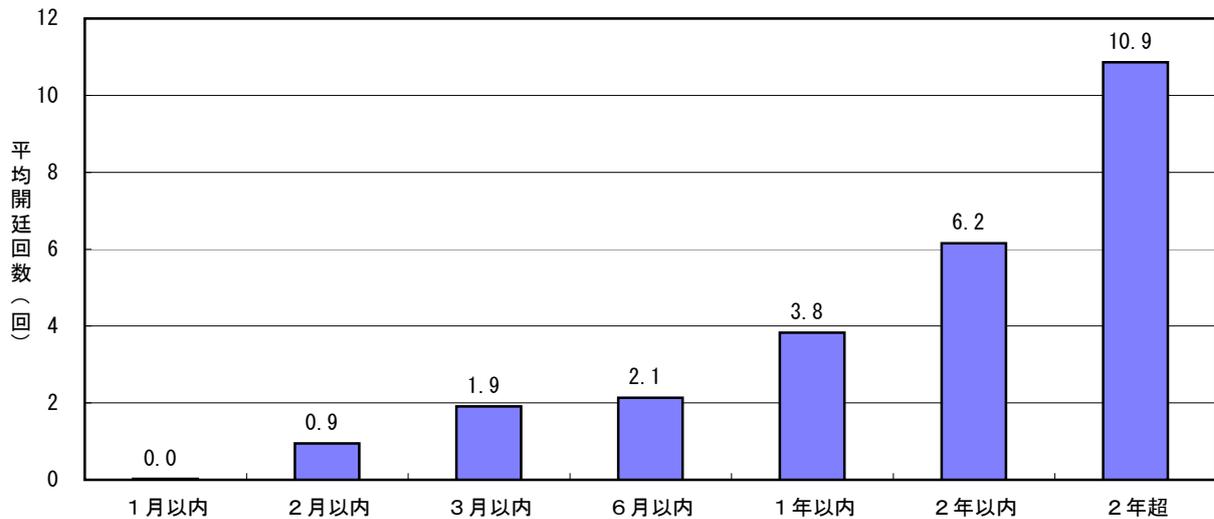


審理期間別平均開廷回数(平成17年)

	開廷回数	終局人員	平均開廷回数
総数	16,089	9,264	1.7
1月以内	36	1,474	0.0
2月以内	799	845	0.9
3月以内	6,450	3,370	1.9
6月以内	6,711	3,139	2.1
1年以内	1,260	329	3.8
2年以内	431	70	6.2
2年を超える	402	37	10.9

【図9】審理期間別平均開廷回数(平成17年)

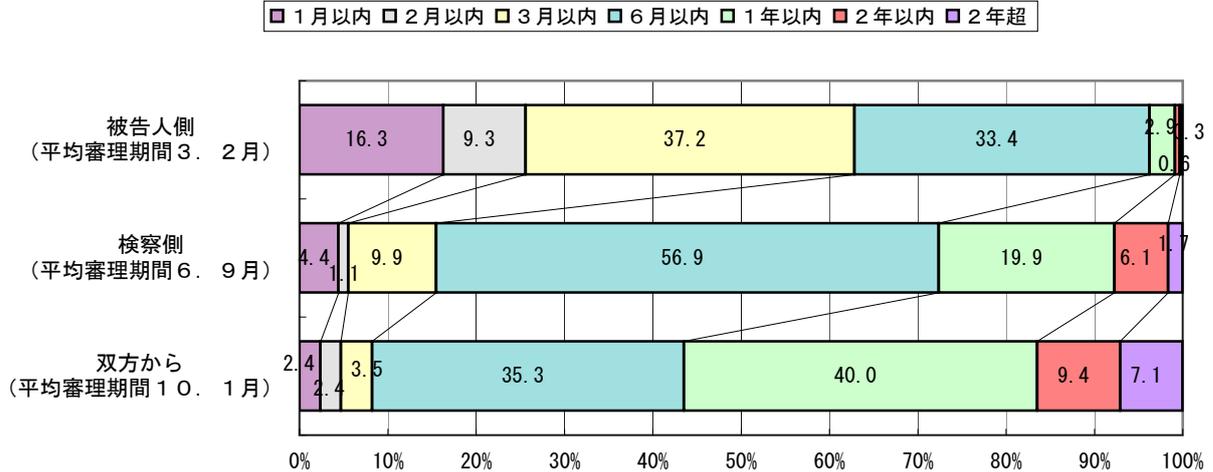
(※P169-図8)



控訴申立人別平均審理期間(平成17年)

	総数	1月以内	2月以内	3月以内	6月以内	1年以内	2年以内	2年超
被告人側 (平均審理期間3.2月)	(100.0) 8,995	(16.3) 1,464	(9.3) 841	(37.2) 3,348	(33.4) 3,005	(2.9) 259	(0.6) 50	(0.3) 28
検察側 (平均審理期間6.9月)	(100.0) 181	(4.4) 8	(1.1) 2	(9.9) 18	(56.9) 103	(19.9) 36	(6.1) 11	(1.7) 3
双方から (平均審理期間10.1月)	(100.0) 85	(2.4) 2	(2.4) 2	(3.5) 3	(35.3) 30	(40.0) 34	(9.4) 8	(7.1) 6

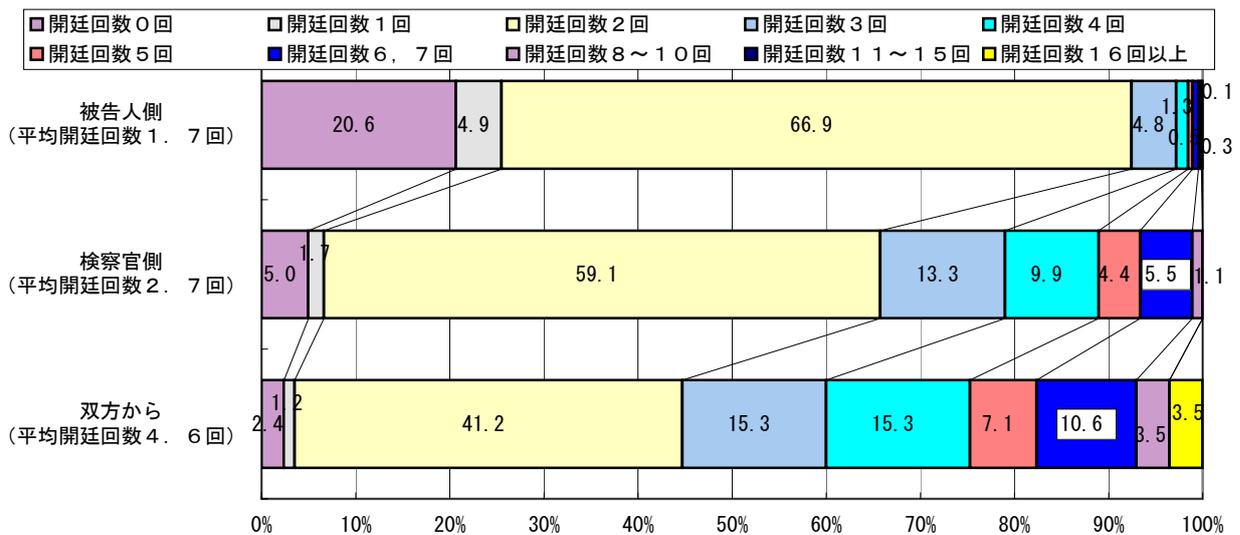
【図10】控訴申立人別審理期間の分布(平成17年)



控訴申立人別開廷回数(平成17年)

	総数	開廷回数 0回	開廷回数 1回	開廷回数 2回	開廷回数 3回	開廷回数 4回	開廷回数 5回	開廷回数 6, 7回	開廷回数 8~10回	開廷回数 11~15回	開廷回数 16回以上
被告人側 (平均開廷回数1.7回)	(100.0) 8,995	(20.6) 1,857	(4.9) 437	(66.9) 6,020	(4.8) 428	(1.3) 116	(0.5) 41	(0.6) 56	(0.3) 29	(0.1) 8	(0.0) 3
検察官側 (平均開廷回数2.7回)	(100.0) 181	(5.0) 9	(1.7) 3	(59.1) 107	(13.3) 24	(9.9) 18	(4.4) 8	(5.5) 10	(1.1) 2	(0.0) 0	(0.0) 0
双方から (平均開廷回数4.6回)	(100.0) 85	(2.4) 2	(1.2) 1	(41.2) 35	(15.3) 13	(15.3) 13	(7.1) 6	(10.6) 9	(3.5) 3	(0.0) 0	(3.5) 3

【図11】控訴申立人別平均開廷回数の分布(平成17年)

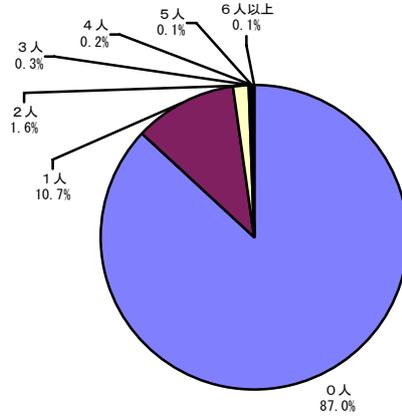


控訴審における取調べ証人数

区分	終局 人員	取調べ証人数						
		0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上
年次	(100.0)	(87.0)	(10.7)	(1.6)	(0.3)	(0.2)	(0.1)	(0.1)
平成17年	9,264	8,064	992	148	26	14	12	8

【図12】取調べ証人数の分布(平成17年)

(※P172-図13)



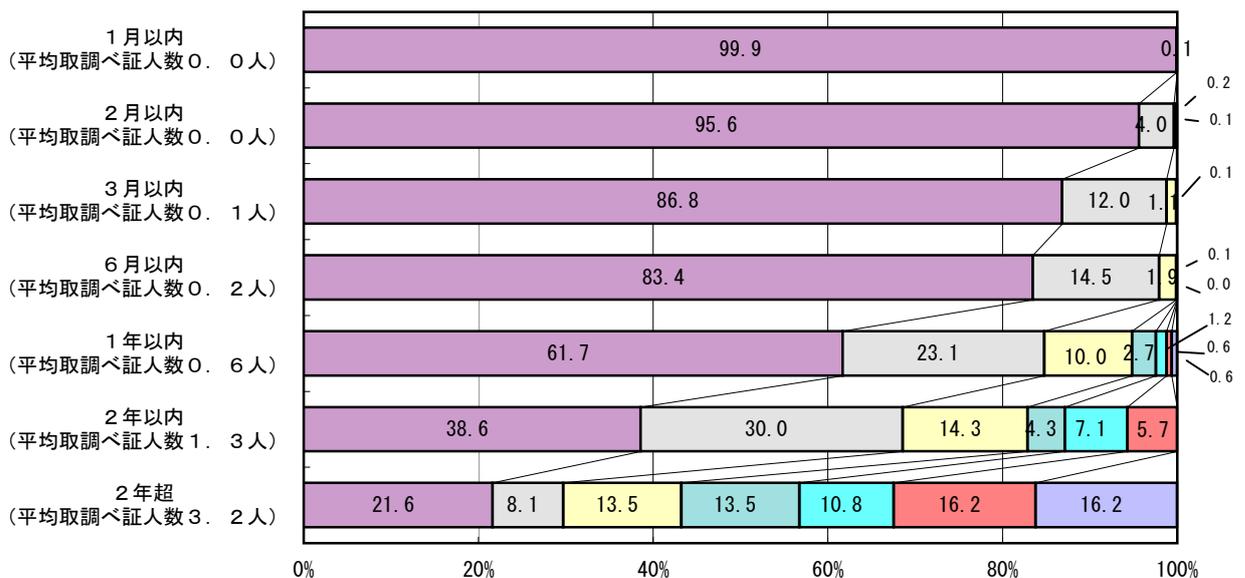
審理期間別取調べ証人数(平成17年)

	総数	証人なし	証人1人	証人2人	証人3人	証人4人	証人5人	証人6人以上
1月以内 (平均取調べ証人数0.0人)	(100.0) 1,474	(99.9) 1,473	(0.1) 1	-	-	-	-	-
2月以内 (平均取調べ証人数0.0人)	(100.0) 845	(95.6) 808	(4.0) 34	(0.2) 2	(0.1) 1	-	-	-
3月以内 (平均取調べ証人数0.1人)	(100.0) 3,370	(86.8) 2,926	(12.0) 403	(1.1) 37	(0.1) 4	-	-	-
6月以内 (平均取調べ証人数0.2人)	(100.0) 3,139	(83.4) 2,619	(14.5) 454	(1.9) 61	(0.1) 4	(0.0) 1	-	-
1年以内 (平均取調べ証人数0.6人)	(100.0) 329	(61.7) 203	(23.1) 76	(10.0) 33	(2.7) 9	(1.2) 4	(0.6) 2	(0.6) 2
2年以内 (平均取調べ証人数1.3人)	(100.0) 70	(38.6) 27	(30.0) 21	(14.3) 10	(4.3) 3	(7.1) 5	(5.7) 4	-
2年超 (平均取調べ証人数3.2人)	(100.0) 37	(21.6) 8	(8.1) 3	(13.5) 5	(13.5) 5	(10.8) 4	(16.2) 6	(16.2) 6

【図13】審理期間別取調べ証人数の分布(平成17年)

(※P173-図14)

■証人なし ■証人1人 ■証人2人 ■証人3人 ■証人4人 ■証人5人 ■証人6人以上

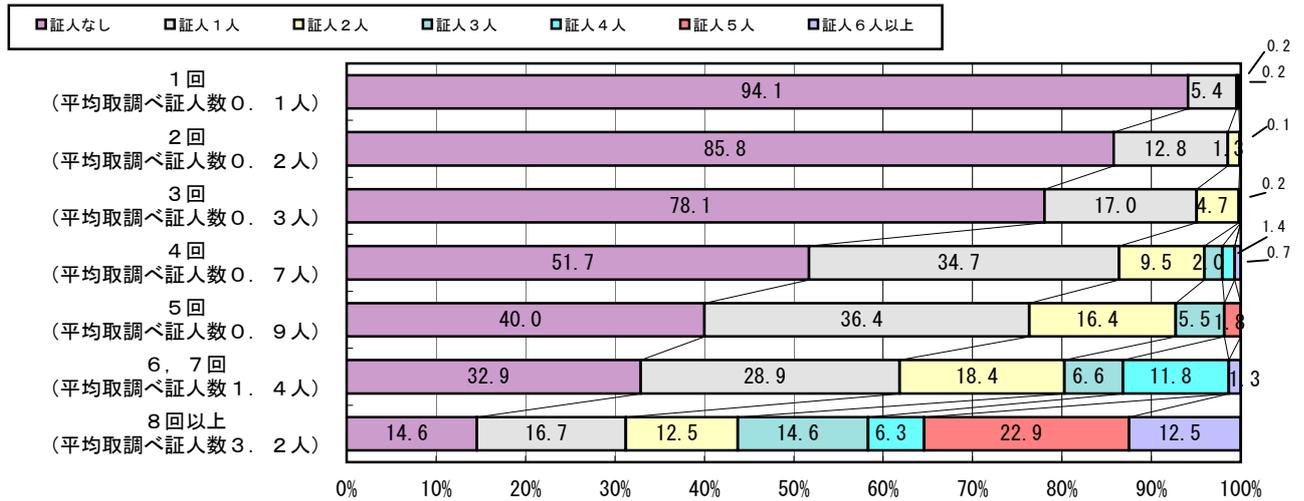


開廷回数別取調べ証人数(平成17年)

	総数	証人なし	証人1人	証人2人	証人3人	証人4人	証人5人	証人6人以上
1回 (平均取調べ証人数0.1人)	(100.0) 441	(94.1) 415	(5.4) 24	(0.2) 1	(0.2) 1	-	-	-
2回 (平均取調べ証人数0.2人)	(100.0) 6,164	(85.8) 5,288	(12.8) 788	(1.3) 82	(0.1) 6	-	-	-
3回 (平均取調べ証人数0.3人)	(100.0) 465	(78.1) 363	(17.0) 79	(4.7) 22	(0.2) 1	-	-	-
4回 (平均取調べ証人数0.7人)	(100.0) 147	(51.7) 76	(34.7) 51	(9.5) 14	(2.0) 3	(1.4) 2	-	(0.7) 1
5回 (平均取調べ証人数0.9人)	(100.0) 55	(40.0) 22	(36.4) 20	(16.4) 9	(5.5) 3	-	(1.8) 1	-
6,7回 (平均取調べ証人数1.4人)	(100.0) 76	(32.9) 25	(28.9) 22	(18.4) 14	(6.6) 5	(11.8) 9	-	(1.3) 1
8回以上 (平均取調べ証人数3.2人)	(100.0) 48	(14.6) 7	(16.7) 8	(12.5) 6	(14.6) 7	(6.3) 3	(22.9) 11	(12.5) 6

【図14】開廷回数別取調べ証人数の分布(平成17年)

(※P173-図15)

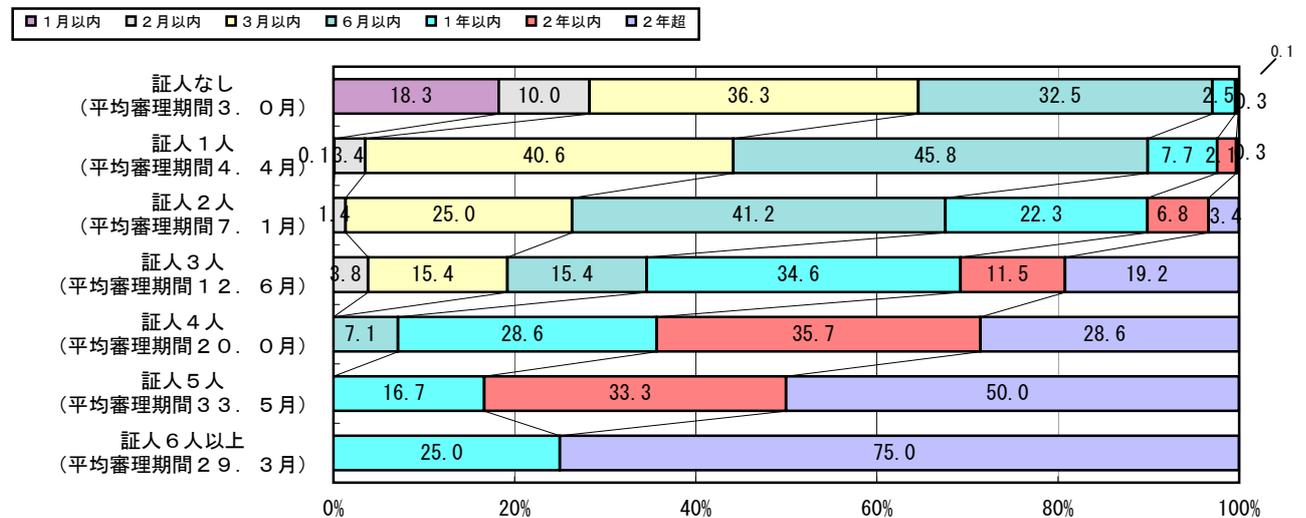


証人数別審理期間(平成17年)

	総数	1月以内	2月以内	3月以内	6月以内	1年以内	2年以内	2年超
証人なし (平均審理期間3.0月)	(100.0) 8,064	(18.3) 1,473	(10.0) 808	(36.3) 2,926	(32.5) 2,619	(2.5) 203	(0.3) 27	(0.1) 8
証人1人 (平均審理期間4.4月)	(100.0) 992	(0.1) 1	(3.4) 34	(40.6) 403	(45.8) 454	(7.7) 76	(2.1) 21	(0.3) 3
証人2人 (平均審理期間7.1月)	(100.0) 148	-	(1.4) 2	(25.0) 37	(41.2) 61	(22.3) 33	(6.8) 10	(3.4) 5
証人3人 (平均審理期間12.6月)	(100.0) 26	-	(3.8) 1	(15.4) 4	(15.4) 4	(34.6) 9	(11.5) 3	(19.2) 5
証人4人 (平均審理期間20.0月)	(100.0) 14	-	-	-	(7.1) 1	(28.6) 4	(35.7) 5	(28.6) 4
証人5人 (平均審理期間33.5月)	(100.0) 12	-	-	-	-	(16.7) 2	(33.3) 4	(50.0) 6
証人6人以上 (平均審理期間29.3月)	(100.0) 8	-	-	-	-	(25.0) 2	-	(75.0) 6

【図15】証人数別審理期間の分布(平成17年)

(※P174-図16)

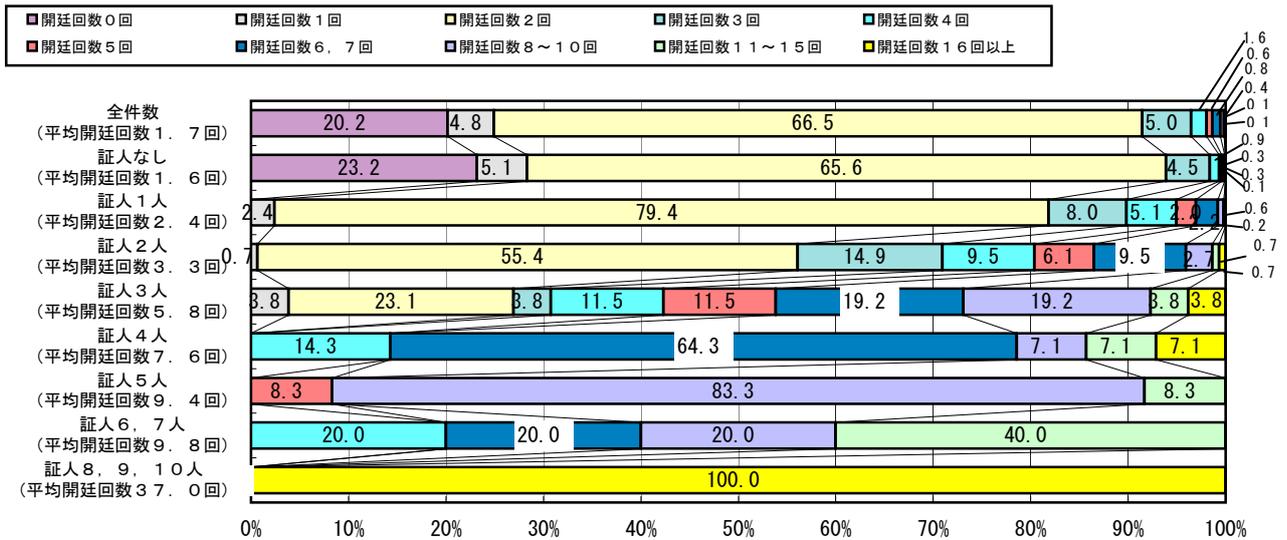


証人数別開廷回数(平成17年)

	総数	開廷回数 0回	開廷回数 1回	開廷回数 2回	開廷回数 3回	開廷回数 4回	開廷回数 5回	開廷回数 6、7回	開廷回数 8~10回	開廷回数 11~15回	開廷回数 16回以上
全件数 (平均開廷回数1.7回)	(100.0) 9,264	(20.2) 1,868	(4.8) 441	(66.5) 6,164	(5.0) 465	(1.6) 147	(0.6) 55	(0.8) 76	(0.4) 34	(0.1) 8	(0.1) 6
証人なし (平均開廷回数1.6回)	(100.0) 8,064	(23.2) 1,868	(5.1) 415	(65.6) 5,288	(4.5) 363	(0.9) 76	(0.3) 22	(0.3) 25	(0.1) 7	-	-
証人1人 (平均開廷回数2.4回)	(100.0) 992	-	(2.4) 24	(79.4) 788	(8.0) 79	(5.1) 51	(2.0) 20	(2.2) 22	(0.6) 6	(0.2) 2	-
証人2人 (平均開廷回数3.3回)	(100.0) 148	-	(0.7) 1	(55.4) 82	(14.9) 22	(9.5) 14	(6.1) 9	(9.5) 14	(2.7) 4	(0.7) 1	(0.7) 1
証人3人 (平均開廷回数5.8回)	(100.0) 26	-	(3.8) 1	(23.1) 6	(3.8) 1	(11.5) 3	(11.5) 3	(19.2) 5	(19.2) 5	(3.8) 1	(3.8) 1
証人4人 (平均開廷回数7.6回)	(100.0) 14	-	-	-	-	(14.3) 2	-	(64.3) 9	(7.1) 1	(7.1) 1	(7.1) 1
証人5人 (平均開廷回数9.4回)	(100.0) 12	-	-	-	-	-	(8.3) 1	-	(83.3) 10	(8.3) 1	-
証人6、7人 (平均開廷回数9.8回)	(100.0) 5	-	-	-	-	(20.0) 1	-	(20.0) 1	(20.0) 1	(40.0) 2	-
証人8、9、10人 (平均開廷回数37.0回)	(100.0) 3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(100.0) 3

【図16】証人数別開廷回数の分布(平成17年)

(※P175-図17)

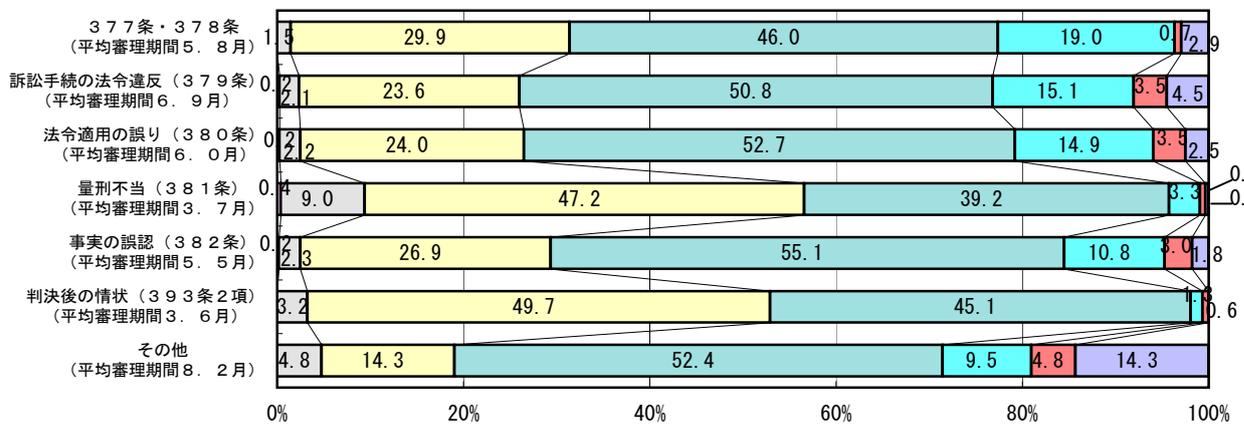


控訴理由別の審理期間(平成17年)

	総数	1月以内	2月以内	3月以内	6月以内	1年以内	2年以内	2年超
377条・378条 (平均審理期間5.8月)	(100.0) 137	-	(1.5) 2	(29.9) 41	(46.0) 63	(19.0) 26	(0.7) 1	(2.9) 4
訴訟手続の法令違反(379条) (平均審理期間6.9月)	(100.0) 423	(0.2) 1	(2.1) 9	(23.6) 100	(50.8) 215	(15.1) 64	(3.5) 15	(4.5) 19
法令適用の誤り(380条) (平均審理期間6.0月)	(100.0) 404	(0.2) 1	(2.2) 9	(24.0) 97	(52.7) 213	(14.9) 60	(3.5) 14	(2.5) 10
量刑不当(381条) (平均審理期間3.7月)	(100.0) 6,661	(0.4) 26	(9.0) 600	(47.2) 3,142	(39.2) 2,610	(3.3) 220	(0.6) 41	(0.3) 22
事実の誤認(382条) (平均審理期間5.5月)	(100.0) 2,384	(0.2) 4	(2.3) 55	(26.9) 641	(55.1) 1,314	(10.8) 257	(3.0) 71	(1.8) 42
判決後の情状(393条2項) (平均審理期間3.6月)	(100.0) 308	-	(3.2) 10	(49.7) 153	(45.1) 139	(1.3) 4	(0.6) 2	-
その他 (平均審理期間8.2月)	(100.0) 21	-	(4.8) 1	(14.3) 3	(52.4) 11	(9.5) 2	(4.8) 1	(14.3) 3

【図17】控訴理由別の審理期間(平成17年)

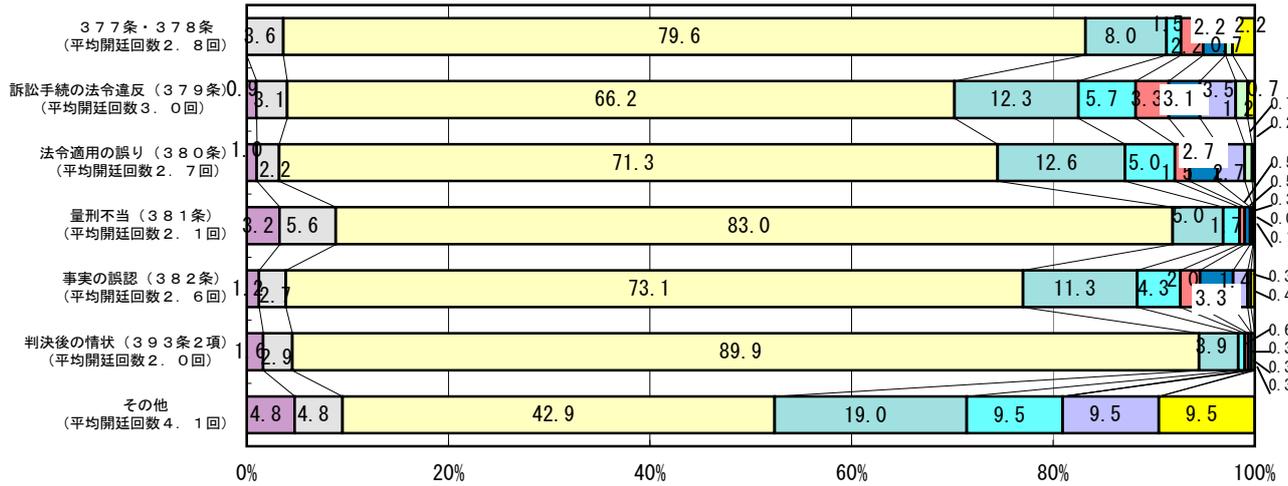
1月以内 2月以内 3月以内 6月以内 1年以内 2年以内 2年超



控訴理由別開廷回数(平成17年)

	総数	開廷回数 0回	開廷回数 1回	開廷回数 2回	開廷回数 3回	開廷回数 4回	開廷回数 5回	開廷回数 6、7回	開廷回数 8~10回	開廷回数 11~15回	開廷回数 16回以上
377条・378条 (平均開廷回数2.8回)	(100.0) 137	-	(3.6) 5	(79.6) 109	(8.0) 11	(1.5) 2	(2.2) 3	(2.2) 3	-	(0.7) 1	(2.2) 3
訴訟手続の法令違反(379条) (平均開廷回数3.0回)	(100.0) 423	(0.9) 4	(3.1) 13	(66.2) 280	(12.3) 52	(5.7) 24	(3.3) 14	(3.1) 13	(3.5) 15	(1.2) 5	(0.7) 3
法令適用の誤り(380条) (平均開廷回数2.7回)	(100.0) 404	(1.0) 4	(2.2) 9	(71.3) 288	(12.6) 51	(5.0) 20	(1.5) 6	(2.7) 11	(2.7) 11	(0.7) 3	(0.2) 1
量刑不当(381条) (平均開廷回数2.1回)	(100.0) 6,661	(3.2) 216	(5.6) 373	(83.0) 5,529	(5.0) 334	(1.7) 110	(0.5) 34	(0.5) 35	(0.3) 20	(0.0) 3	(0.1) 7
事実の誤認(382条) (平均開廷回数2.6回)	(100.0) 2,384	(1.2) 29	(2.7) 64	(73.1) 1,743	(11.3) 270	(4.3) 102	(2.0) 47	(3.3) 78	(1.4) 34	(0.3) 8	(0.4) 9
判決後の情状(393条2項) (平均開廷回数2.0回)	(100.0) 308	(1.6) 5	(2.9) 9	(89.9) 277	(3.9) 12	(0.6) 2	(0.3) 1	(0.3) 1	-	(0.3) 1	-
その他 (平均開廷回数4.1回)	(100.0) 21	(4.8) 1	(4.8) 1	(42.9) 9	(19.0) 4	(9.5) 2	-	-	(9.5) 2	-	(9.5) 2

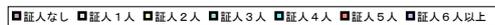
【図18】控訴理由別の開廷回数の分布(平成17年)



控訴理由別証人数(平成17年)

	総数	証人なし	証人1人	証人2人	証人3人	証人4人	証人5人	証人6人以上
377条・378条 (平均取調べ証人数0.3人)	(100.0) 137	(89.1) 122	(7.3) 10	(0.7) 1	-	(1.5) 2	-	(1.5) 2
訴訟手続の法令違反(379条) (平均取調べ証人数0.3人)	(100.0) 423	(87.5) 370	(7.3) 31	(2.1) 9	(0.2) 1	(0.7) 3	(1.4) 6	(0.7) 3
法令適用の誤り(380条) (平均取調べ証人数0.3人)	(100.0) 404	(85.1) 344	(8.9) 36	(2.0) 8	(1.2) 5	(1.5) 6	(0.5) 2	(0.7) 3
量刑不当(381条) (平均取調べ証人数0.2人)	(100.0) 6,661	(83.4) 5,553	(14.2) 948	(1.8) 123	(0.3) 19	(0.1) 5	(0.1) 7	(0.1) 6
事実の誤認(382条) (平均取調べ証人数0.3人)	(100.0) 2,384	(85.9) 2,048	(9.2) 220	(2.4) 58	(0.8) 20	(0.7) 16	(0.5) 12	(0.4) 10
判決後の情状(393条2項) (平均取調べ証人数0.2人)	(100.0) 308	(79.5) 245	(18.5) 57	(1.3) 4	(0.3) 1	-	(0.3) 1	-
その他 (平均取調べ証人数0.6人)	(100.0) 21	(71.4) 15	(14.3) 3	(9.5) 2	-	-	-	(4.8) 1

【図19】控訴理由別の証人数の分布(平成17年)

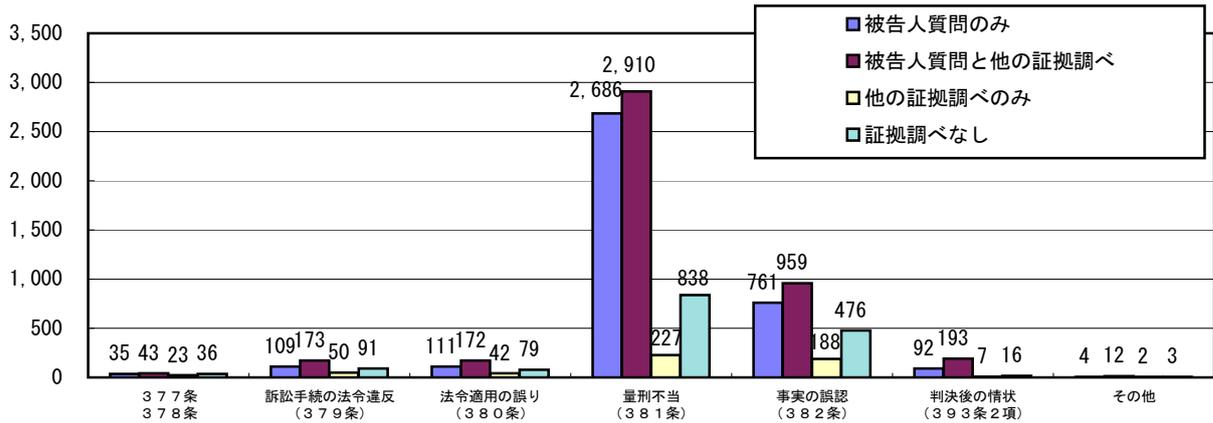


控訴理由別の控訴審における事実の取調べの行われた人員とその内容

区分 控訴理由	終局人員	事実の取調べの行われた人員				事実の取調べが行われなかった人員
		総数	被告人質問のみ	被告人質問と他の証拠調べ	他の証拠調べのみ	
377条 378条	137	(73.7) 101	(25.5) 35	(31.4) 43	(16.8) 23	(26.3) 36
訴訟手続の法令違反 (379条)	423	(78.5) 332	(25.8) 109	(40.9) 173	(11.8) 50	(21.5) 91
法令適用の誤り (380条)	404	(80.4) 325	(27.5) 111	(42.6) 172	(10.4) 42	(19.6) 79
量刑不当 (381条)	6,661	(87.4) 5,823	(40.3) 2,686	(43.7) 2,910	(3.4) 227	(12.6) 838
事実の誤認 (382条)	2,384	(80.0) 1,908	(31.9) 761	(40.2) 959	(7.9) 188	(20.0) 476
判決後の情状 (393条2項)	308	(94.8) 292	(29.9) 92	(62.7) 193	(2.3) 7	(5.2) 16
その他	21	(85.7) 18	(19.0) 4	(57.1) 12	(9.5) 2	(14.3) 3

(注) ()内は終局人員に対する%である

【図20】控訴理由別の控訴審における事実の取調べの行われた人員とその内容(平成17年)



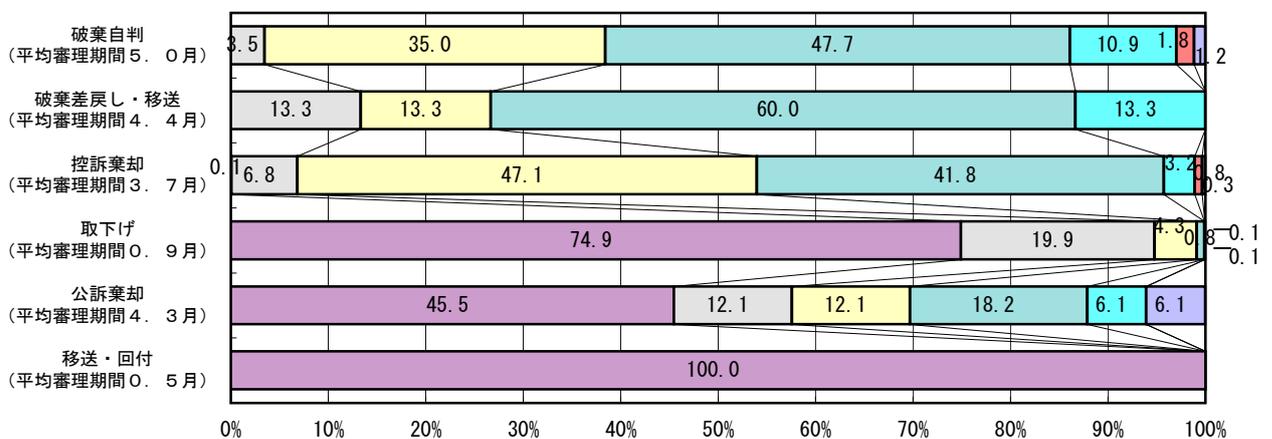
(注)「その他」とは、再審事由(383条1号)、不適当な控訴理由を掲げた場合等をいう。

控訴審の結果別の審理期間(平成17年)

	総数	1月以内	2月以内	3月以内	6月以内	1年以内	2年以内	2年超
破棄自判 (平均審理期間5.0月)	(100.0) 1,215	-	(3.5) 42	(35.0) 425	(47.7) 579	(10.9) 133	(1.8) 22	(1.2) 14
破棄差戻し・移送 (平均審理期間4.4月)	(100.0) 15	-	(13.3) 2	(13.3) 2	(60.0) 9	(13.3) 2	-	-
控訴棄却 (平均審理期間3.7月)	(100.0) 6,059	(0.1) 4	(6.8) 411	(47.1) 2,855	(41.8) 2,530	(3.2) 192	(0.8) 47	(0.3) 20
取下げ (平均審理期間0.9月)	(100.0) 1,941	(74.9) 1,454	(19.9) 386	(4.3) 84	(0.8) 15	-	(0.1) 1	(0.1) 1
公訴棄却 (平均審理期間4.3月)	(100.0) 33	(45.5) 15	(12.1) 4	(12.1) 4	(18.2) 6	(6.1) 2	-	(6.1) 2
移送・回付 (平均審理期間0.5月)	(100.0) 1	(100.0) 1	-	-	-	-	-	-

【図21】控訴審の結果別の審理期間の分布(平成17年)

■ 1月以内 □ 2月以内 □ 3月以内 □ 6月以内 □ 1年以内 ■ 2年以内 □ 2年超

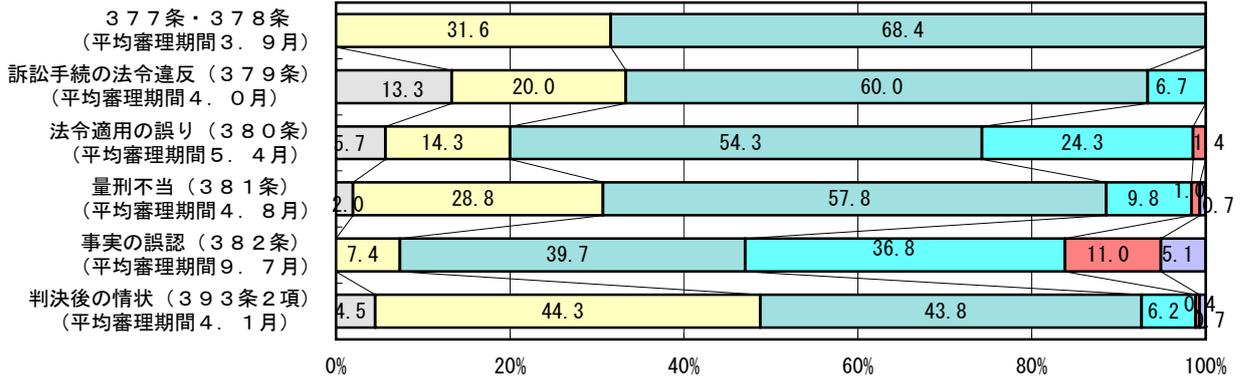


破棄理由別の審理期間(平成17年)

	総数	1月以内	2月以内	3月以内	6月以内	1年以内	2年以内	2年超
377条・378条 (平均審理期間3.9月)	(100.0) 19	-	-	(31.6) 6	(68.4) 13	-	-	-
訴訟手続の法令違反(379条) (平均審理期間4.0月)	(100.0) 15	-	(13.3) 2	(20.0) 3	(60.0) 9	(6.7) 1	-	-
法令適用の誤り(380条) (平均審理期間5.4月)	(100.0) 70	-	(5.7) 4	(14.3) 10	(54.3) 38	(24.3) 17	(1.4) 1	-
量刑不当(381条) (平均審理期間4.8月)	(100.0) 306	-	(2.0) 6	(28.8) 88	(57.8) 177	(9.8) 30	(1.0) 3	(0.7) 2
事実の誤認(382条) (平均審理期間9.7月)	(100.0) 136	-	-	(7.4) 10	(39.7) 54	(36.8) 50	(11.0) 15	(5.1) 7
判決後の情状(393条2項) (平均審理期間4.1月)	(100.0) 707	-	(4.5) 32	(44.3) 313	(43.8) 310	(6.2) 44	(0.4) 3	(0.7) 5

【図24】破棄理由別の審理期間(平成17年)

■ 1月以内 □ 2月以内 □ 3月以内 □ 6月以内 □ 1年以内 ■ 2年以内 □ 2年超

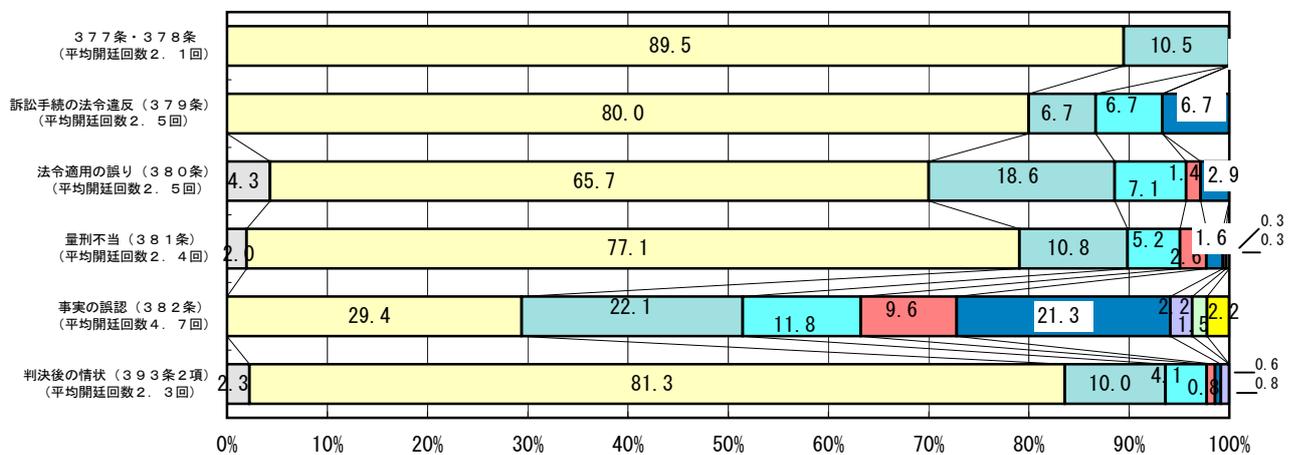


破棄理由別開廷回数(平成17年)

	総数	開廷回数 0回	開廷回数 1回	開廷回数 2回	開廷回数 3回	開廷回数 4回	開廷回数 5回	開廷回数 6, 7回	開廷回数 8~10回	開廷回数 11~15回	開廷回数 16回以上
377条・378条 (平均開廷回数2.1回)	(100.0) 19	-	-	(89.5) 17	(10.5) 2	-	-	-	-	-	-
訴訟手続の法令違反(379条) (平均開廷回数2.5回)	(100.0) 15	-	-	(80.0) 12	(6.7) 1	(6.7) 1	(6.7) 1	-	-	-	-
法令適用の誤り(380条) (平均開廷回数2.5回)	(100.0) 70	-	(4.3) 3	(65.7) 46	(18.6) 13	(7.1) 5	(1.4) 1	(2.9) 2	-	-	-
量刑不当(381条) (平均開廷回数2.4回)	(100.0) 306	-	(2.0) 6	(77.1) 236	(10.8) 33	(5.2) 16	(2.6) 8	(1.6) 5	(0.3) 1	(0.3) 1	-
事実の誤認(382条) (平均開廷回数4.7回)	(100.0) 136	-	-	(29.4) 40	(22.1) 30	(11.8) 16	(9.6) 13	(21.3) 29	(2.2) 3	(1.5) 2	(2.2) 3
判決後の情状(393条2項) (平均開廷回数2.3回)	(100.0) 707	-	(2.3) 16	(81.3) 575	(10.0) 71	(4.1) 29	(0.8) 6	(0.6) 4	(0.8) 6	-	-

【図25】破棄理由別の開廷回数の分布(平成17年)

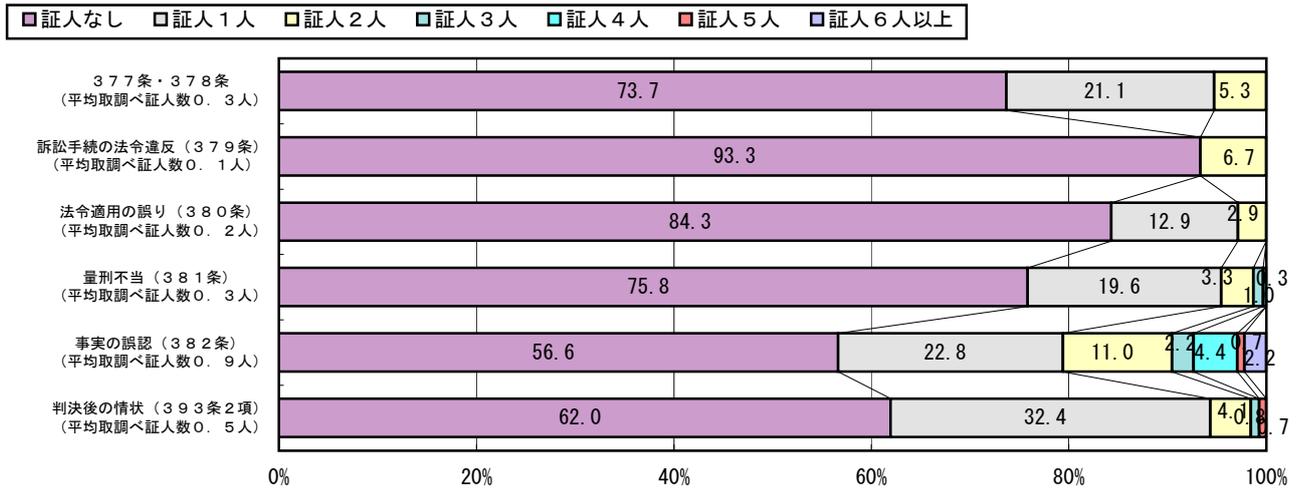
■ 開廷回数0回 □ 開廷回数1回 □ 開廷回数2回 □ 開廷回数3回 □ 開廷回数4回
■ 開廷回数5回 ■ 開廷回数6, 7回 ■ 開廷回数8~10回 □ 開廷回数11~15回 ■ 開廷回数16回以上



破棄理由別証人数(平成17年)

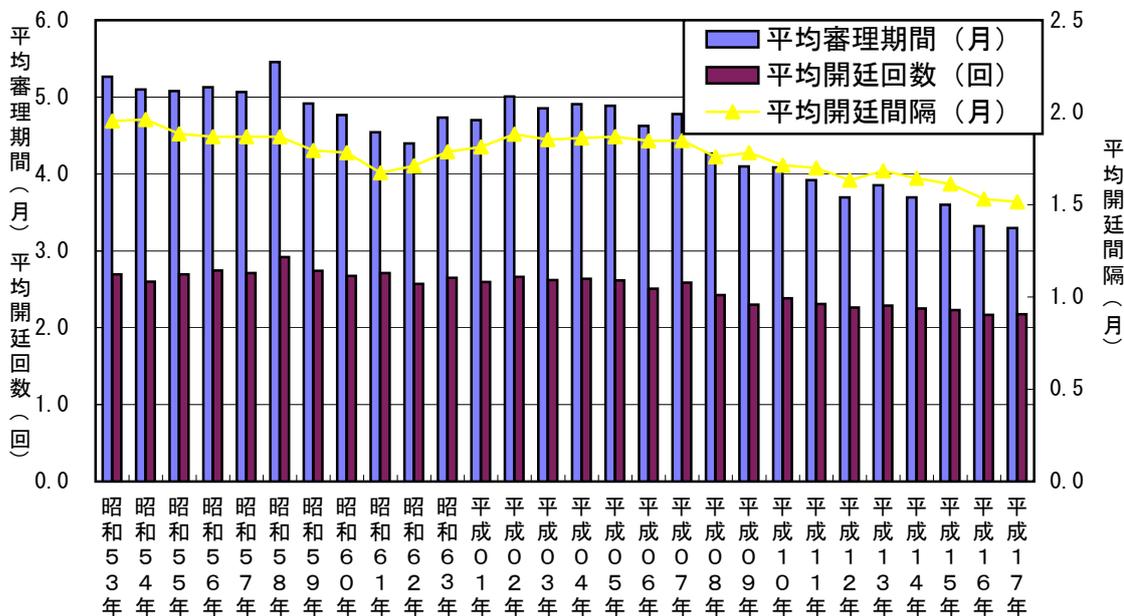
	総数	証人なし	証人1人	証人2人	証人3人	証人4人	証人5人	証人6人以上
377条・378条 (平均取調べ証人数0.3人)	(100.0) 19	(73.7) 14	(21.1) 4	(5.3) 1	-	-	-	-
訴訟手続の法令違反(379条) (平均取調べ証人数0.1人)	(100.0) 15	(93.3) 14	-	(6.7) 1	-	-	-	-
法令適用の誤り(380条) (平均取調べ証人数0.2人)	(100.0) 70	(84.3) 59	(12.9) 9	(2.9) 2	-	-	-	-
量刑不当(381条) (平均取調べ証人数0.3人)	(100.0) 306	(75.8) 232	(19.6) 60	(3.3) 10	(1.0) 3	(0.3) 1	-	-
事実の誤認(382条) (平均取調べ証人数0.9人)	(100.0) 136	(56.6) 77	(22.8) 31	(11.0) 15	(2.2) 3	(4.4) 6	(0.7) 1	(2.2) 3
判決後の情状(393条2項) (平均取調べ証人数0.5人)	(100.0) 707	(62.0) 438	(32.4) 229	(4.1) 29	(0.8) 6	-	(0.7) 5	-

【図26】破棄理由別の証人数の分布(平成17年)



【図27】平均審理期間, 平均開廷回数及び平均開廷間隔の推移

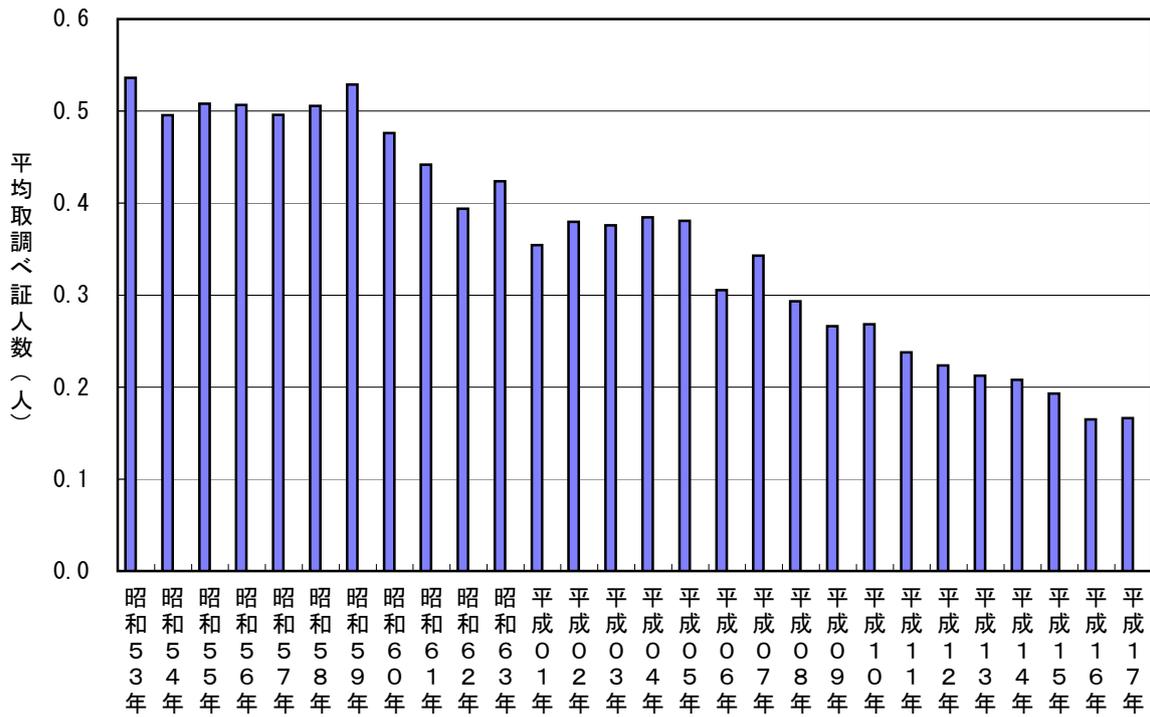
(※P207-図65)



(注) この場合の平均開廷回数は, 平均開廷間隔との対比の必要上, 控訴取下げなど公判が開かれずに終局した事件については, 平均開廷回数を算出する対象事件から除外してある。

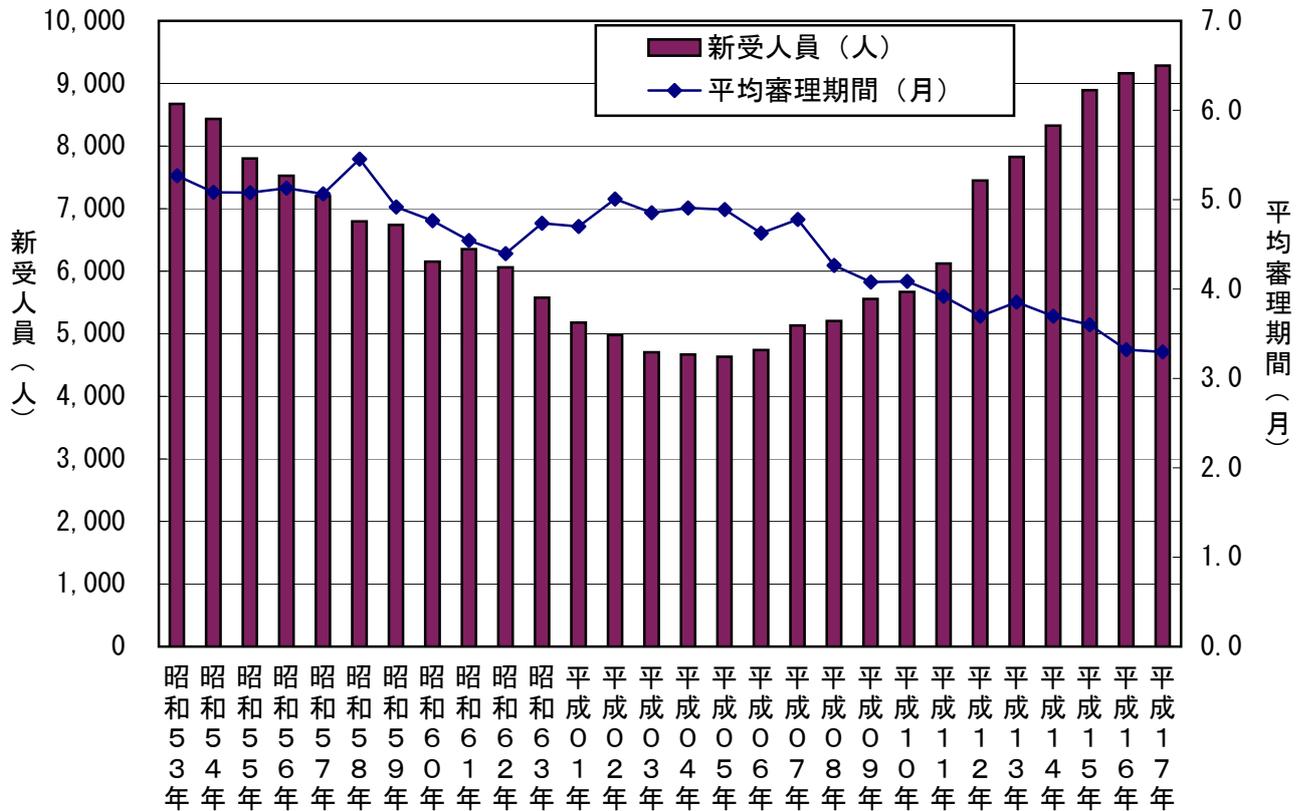
【図28】平均取調べ証人数の推移

(※P208-図66)

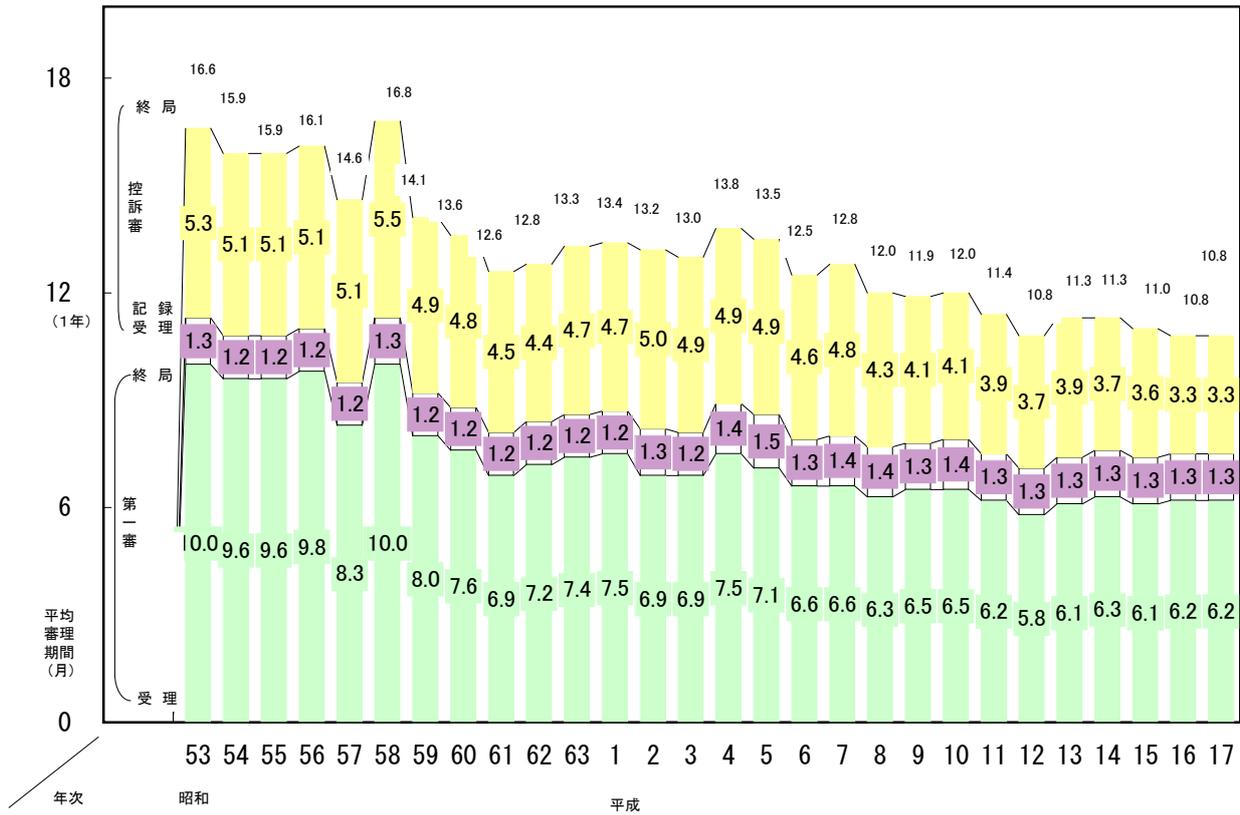


【図29】新受人員と平均審理期間の推移

(※P210-図69)

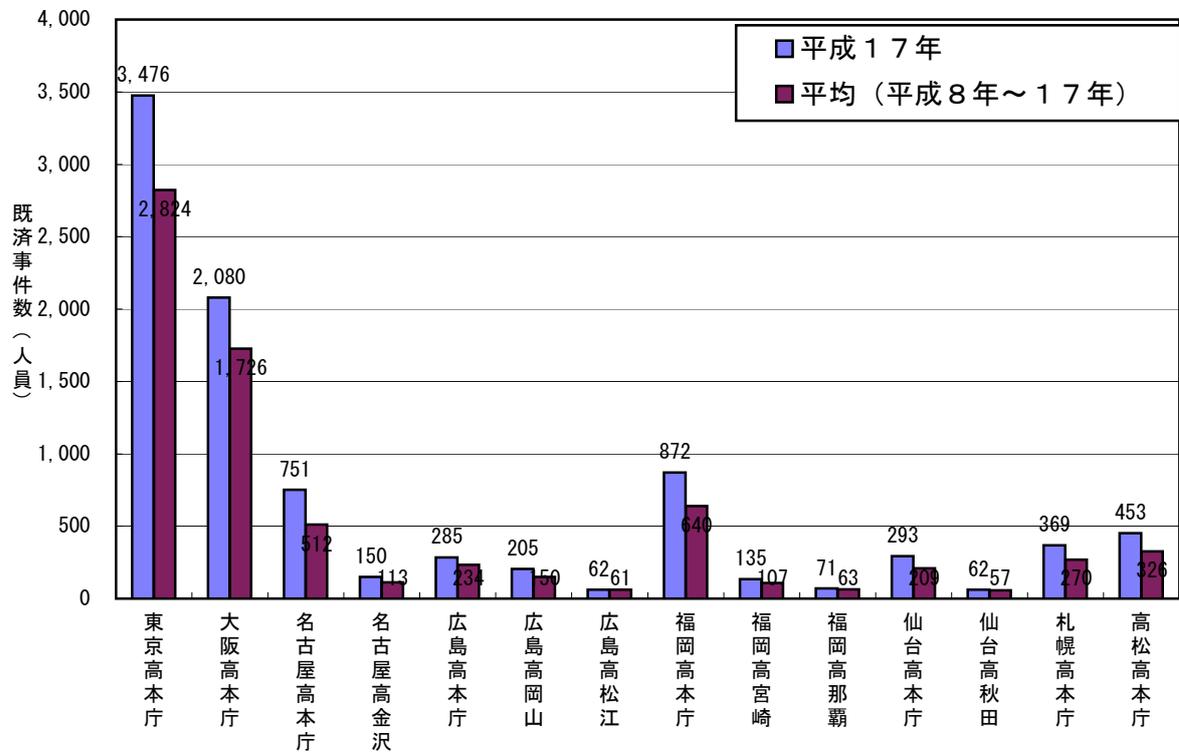


【図30】審級別の平均審理期間の推移



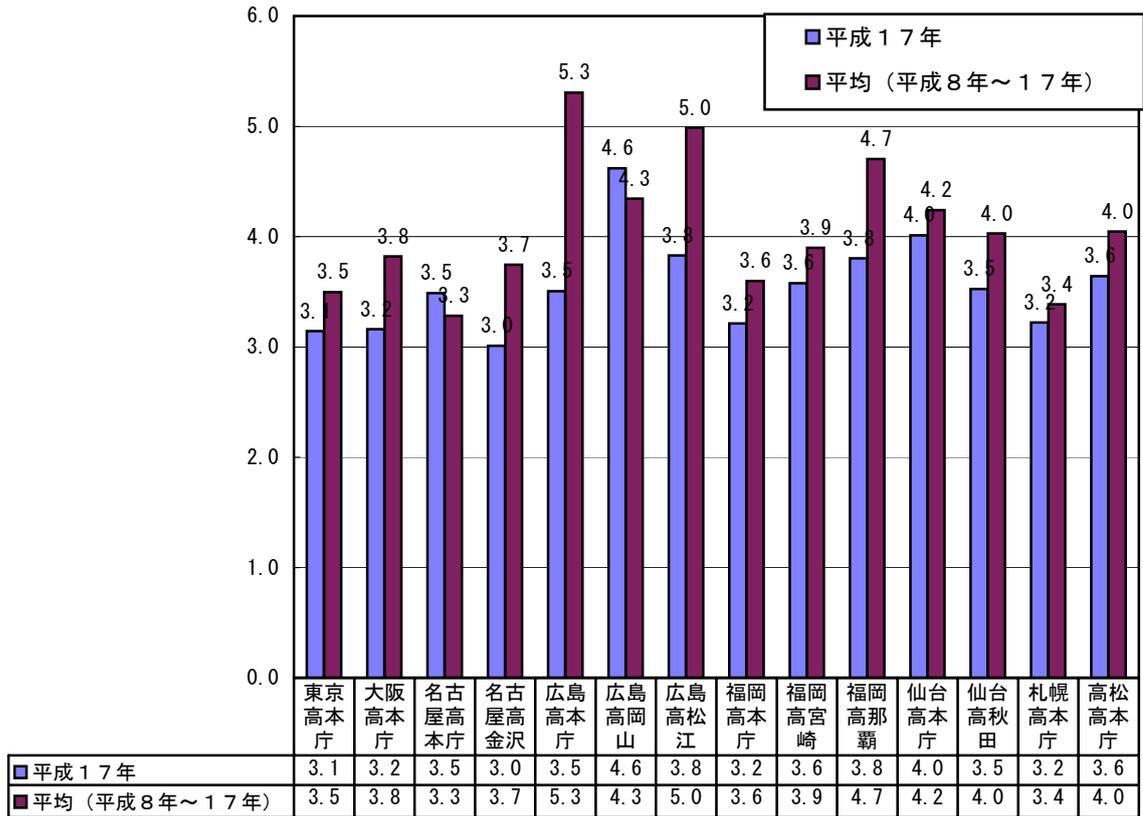
【図31】高裁別事件数の状況

(※P219-図87)



【図32】高裁別審理期間の状況

(※P220-図89)



【図33】高裁別開廷回数(回)の状況

(※P221-図91)

